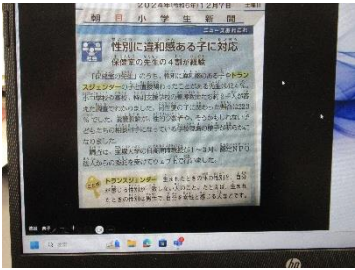


重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【性的マイノリティの動画を活用した授業】	小学部高学年、中学部、高等部において、性的マイノリティへの理解促進に関する動画配信を活用した道徳の授業を実施した。冬季休業日を活用して、教職員には動画を見ての研修を個別に実施した。中学部では、全学年全学級で、動画を活用した道徳授業を行い、生徒から感想を聞き、振り返りを行った。感想は、振り返りのワークシートや発表・つぶやきを活かし、個に応じた振り返りを行った。 成果 児童生徒からの感想として、「いろいろな考えをもっている人がいることを知った」「差別せず、見守っていききたい」「人それぞれ違うことが分かった」「いろいろな人と仲良くなりたい」等があった。人それぞれ違ってよいことやみんなと仲良くしていきたいとする思いやりの気持ちの大切さについて深く考え、性別だけでなく、さまざまなことを考えるよい機会となった。 課題 児童生徒たちにとって、性別について考える機会となったが、少し理解が難しい内容でもあった。教師による補足説明や動画の部分的活用など、動画や資料内容の活用方法が課題である。
2 実践2 【校内人権教育研修会（教職員研修）】	全職員を対象として校内人権教育研修会を実施した。性的マイノリティへの理解促進に係る指導書の手引きによる「LGBTsの子どもの命を守る学校の取組」をテーマとしたDVDを視聴したり、関連した新聞記事を紹介したりして、研修を行った。また、性的マイノリティへの理解促進に関する動画配信の紹介も行った。  成果 教職員からの感想として、「人権教育の大切さはもちろん、教育活動を行う上で誰を主語にして考えるか、改めて確認することができた」「LGBT 以外でも一人一人が過ごしやすい学校にしていけるように考えていきたい」「差別的な発言に気をつけていきたい」等、全職員がLGBTsへの認識を深める研修となった。 課題 授業での活用できる資料「性的マイノリティへの理解促進に係る指導等の手引き（教職員用）」や「性的マイノリティへの理解促進に関する動画配信」があるので、年間指導計画に位置付けるなど、計画的に活用していきたい。